



きずな

No.9

 平成28年
9月発行

～福岡県の地域コミュニティ情報誌～

 編集・発行 福岡県企画・地域振興部市町村支援課 〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
 TEL 092(643)3302 FAX 092(643)3078

これからもホタルとともに ～小塩地区自治協議会(うきは市)～

平成17年に吉井町と浮羽町が合併し誕生したうきは市は、南に耳納連山、北に筑後川の清流が流れる、豊かな自然に恵まれた地域です。そのなかでも、小塩地区は、昔から「ホタルの里」と呼ばれ、ホタルにちなんだイベントや取組が数多く行われています。小塩地区にとって、ホタルは地域の象徴とも言える存在です。

ところが、小塩地区は、平成24年7月に発生した九州北部豪雨で、大きな被害を受けました。大量の流木や土砂が濁流によって押し流され、ホタルの生息する川は変わり果てた姿になってしまい、その翌年、ホタルの姿はほとんど見られなくなってしまいました。これまで当たり前だった、たくさんのホタルが舞う美しい光景が見られなくなったことで、小塩地区のみなさんは「小塩らしさが消えてしまう。」と危機感を覚えたそうです。

そういったみなさんの声を聞いた小塩地区自治協議会の佐藤会長の働きかけにより、地域、学校、市役所が一体となった「ホタル復活プロジェクト」が開始されました。

●ホタル復活にむけて

このプロジェクトでは、小塩地区自治協議会が主体となり、ホタルについての勉強会、ホタルの餌となるカワニナの育成、ホタルの幼虫の飼育などを行っています。

このホタルの幼虫は、小塩小学校の児童がホタルを捕りに行き、産卵、ふ化させ、飼育したものです。

この幼虫の放流を毎年7月14日に小塩小学校の児童が行っており、今回、その放流の様子を取材させていただきました。



これから放流が始まります

●いよいよ放流のとき

放流場所の「ホタルの里広場」に集まった小塩小学校の児童24人は、自分たちが育てたホタルの幼虫の入った水槽を順番にのぞき込んでいました。

ホタルの幼虫見えるかな？



Contents No.9

- 各地の活動 ●小塩地区自治協議会(うきは市)…………… 1～2
 ●唐津街道姪浜まちづくり協議会(福岡市)…………… 2～3
 コラム コミュニティ再生のための視点を考える 1
 「自治会は住民自治協議会の心臓部」帝塚山大学 名誉教授 中川 幾郎 …… 4

